

#### 【学校経営】

- 4つの評価項目についての評価の平均は、保護者の評価が3.7以上、職員の評価は3.5以上と、どちらも高い評価となっています。
- 今後もより具体的な学校目標を設定し、それを踏まえて更に現実的な部目標、学級目標を掲げ日々の教育活動を展開していきたいと思えます。そのためにも、日頃から可能な限り、連絡帳等とおして、学校での活動の様子をお伝えしていきます。

#### 【組織運営】※職員のみ回答

- 職員のみ回答し、5つの評価項目についての平均はほぼ3.3以上でしたが、「学校は、計画的に定時退庁日を設定している」については2.4と低い評価でした。附属学校という特性から、どうしても業務の多忙さは否めません。また、部の事情も異なるため、全校統一して定時退庁日を設定することは難しい面もあります。以前から部ごとに定時退庁日を設定するという考えはありましたが、実現できていませんでした。これを次年度は必ず実行したいと考えています。

#### 【危機管理】

- 4つの評価項目についての評価の平均は、保護者の評価が3.6以上、職員の評価は3.4以上とどちらも高い評価となっています。特に「学校は、避難訓練などを通して、児童生徒の安全・防災に関する指導を適切に行っている」「学校は、災害への備えとして、計画的に備蓄品を準備している」については、保護者は3.9、3.8と、職員も3.6、3.5と大変高い評価がされています。今年度から、非常食については各御家庭で、子供にあったものを準備していただくなど御協力をお願いしました。危機管理については、次年度も万全の態勢を整えておきたいと考えています。

#### 【教育活動】

- 15の評価項目についての評価の平均は、保護者の評価が3.5以上、職員の評価は3.0以上でした。「学校は、児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階並びに学校や地域の実態等を十分考慮して、適切な教育課程を編成している」については、保護者の評価は3.6と高いのですが、職員はどの部においても3.1という評価になっています。これは、現在本校が教育課程の研究に取り組んでおり、改善している最中であることが影響していると思われる。
- 「学校は、キャリア教育全体計画を意識しながら日々の指導を行っている」についても、保護者の評価は3.6と高いのですが、職員の平均は3.0で、小学部では2.7と低くなっています。ところが、「学校は、学習内容や教材を工夫しながら指導を行っている」や「学校は、進路実現ができるように自己選択・自己決定を促しながら進路指導を行っている」については、保護者はどちらも3.7、職員も3.6、3.7ととても高く評価をしています。つまり、授業レベルでは、自信をもってキャリア教育を実践しているが、それをキャリア全体計画と結びつけて考えるまでの余裕がないのかもしれない。
- また、全体的に低く評価する傾向のある職員の評価の中で、「学校は、学習内容や教材を工夫しながら指導を行っている」については、保護者と同じ3.7の高い評価をしています。これは、前述の進路に関する実践と同様で、本校の職員がいかに関心の高い授業を大切に、誇りをもっているかの表れであると考えます。これが本校の伝統でもあると言えます。
- 「学校は、共生社会の実現に向けて、交流及び共同学習を計画し、学校間交流や居住地校交流を適切に実施している」については、特に中学部職員の評価が低くなっています。これは、新型コロナウイルス感染症が大きく影響しています。ビデオレターなどの間接交流も検討したのですが、相手校との調整がうまくいかず、今年度は交流が全く実施できませんでした。事態が収束するまでは実施は難しいと思われる。また、小中学部においては、学校同士の交流だけでなく、地域の方々との交流も実施できないか今後検討していきたいと考えています。高等部においては、他校との交流は現在実施していませんが、作業学習の製品を販売するバザーの在り方を工夫して、大学や地域との交流ができないかを検討していきたいと考えています。

#### 【教育環境】

- 4つの評価項目についての評価の平均は、保護者の評価が3.6以上、職員の評価は3.2以上でした。「学校は、施設・設備の安全点検を定期的実施し、問題点があれば早急に対応している」「学校は、校舎内外の美化に努めている」「学校は、校内の掲示を工夫して行っている」については、保護者は3.7、3.8と高く、職員も3.4、3.5と高く評価しています。児童生徒の安全に関することや、教育環境を整えることには、職員一人一人が十分意識していることの表れだと考えます。

#### 【専門性の向上】※職員のみ回答

○職員のみ回答し、8つの評価項目についての平均は2.8から3.2となりました。「学校は、福祉制度などに関する研修を実施して職員の理解を深めている」「学校は、教員として必要な研修（現職教育）を計画的に実施している」「教員は、教育センターの研修講座や各種研修会に参加し、専門性の向上に努めている」については2.8と低い評価となりました。体制的になかなか研修に出掛けることが難しいため、必要な研修を校内でいかに計画的に効率よく行うかが課題だと考えます。今年度は新型コロナウイルス感染症のため、多くの研究会や会議等がこれまでほとんどなかったオンラインでの開催となりました。今後の研修会の在り方を考える大きなきっかけにもなったと思われます。次年度以降もオンラインでの研修会を効果的に活用していく必要があると考えます。

#### 【開かれた学校】

- 7つの評価項目についての評価の平均は、保護者の評価が3.7以上、職員の評価は3.3以上とどちらも高い評価となっています。特に評価が高かったのは、「学校は、連絡帳や電話、一斉メールなどで、必要な情報を素早く保護者に伝えている」の項目で、保護者が3.9、職員が3.7でした。連絡帳については、時としては、担任が十分時間が取れないこともあります。可能な限り時間を見つけて学校での様子をお伝えするようにしていきます。一斉メールについては、企業の協力のおかげで有効に活用させていただいていると感じています。
- 「教職員は、保護者からの相談に対し、誠意をもって丁寧に対応している」についても、保護者が3.8と職員も3.7と高く評価されています。本校の大きな特徴として、保護者の方がとても協力的であるということがあります。そのことを職員が皆十分理解しているからこそ、職員は真摯な姿勢でいることの大切さを忘れないようにしていると思っています。今後も御協力をよろしくお願い致します。

#### 学校関係者評価

※令和3年3月2日（火）に開催した学校評議員会及び学校関係者評価委員会で御意見をいただきましたので、主なものを御紹介します。

- 定時退庁などは、一斉に行うのは難しいであろうから、個別に柔軟に対応することが必要だろう。
- 学校は地域にとっては、指定された一時避難場所ではなく、突発的な場合時のみ避難できる場所であるので、万が一のために、地域の避難場所の備品等の一部を備蓄しておけば安心と思われる。
- 職員が感じている学校の強みを生かしていくことが大切であろう。
- プールを撤去して環境を整備することが、子供たちへの安全で衛生的な教育活動を行ううえで重要であろう。
- 教育実習を県立学校でも引き受けてもらうなどをしないと、根本的な働き方改革にはならないだろう。
- 附属特支を希望する子供が少ない。この学校の具体的な内容を知っている人が少ないということもあるので、良さをもっとアピールしないといけないだろう。そういう意味で、センター的役割を發揮すると良い。
- 附属の強みは、職員一人一人の頑張り、保護者の協力である。これを大切にしてほしい。
- 運動会などが、家族団らんの機会であるという面は変わってきているのかもしれない。そういう意味で、これまでの行事をそのまま継続するという考えは見直しが必要なこともある。